

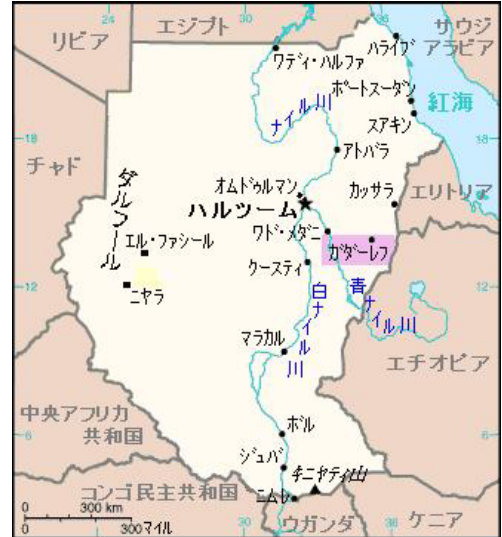
*この事業は日本大使館の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」により実現しました。

スーダン共和国



ガダーレフ州内移動診療用車両寄贈

対象地域：ガダーレフ州
内 容：救急車1台〔長野県の自治体より供出〕
輸送過程：2007年 3月 横浜港より出港
4月 スーダン港入港
9月 ガダーレフ到着
現地の規制が厳しくなり、免税手続きや通関に長い時間がかかりました。



ガダーレフ州ってどんな地域？

スーダン共和国はアフリカ大陸で1番広い国で、日本の約6.6倍の面積を有しています。ガダーレフ州は東部国境地帯に位置した、比較的降水量が多い地域です。熱帯病(マラリアやリーシュマニア症など)が蔓延していますが、医療施設やスタッフが不足しているため、医療サービスが行き届いていないのが現状です。

治安は比較的落ち着いていますが、国際機関やNGO等の注目がスーダン南部やダルフルなどの紛争地域に集まり、他地域に対する外部からの支援が断たれてきています。

救急車フル稼働！

この地域で活動するNGOロシナンテスを通じて、同州の医療活動に役立ててもらうため、救急車を州政府に寄贈しました。ロシナンテスは2005年7月に州支援の要請を受けて共同視察等を行った結果、大半の子供が発育不良であることがわかり、州保健省に対する支援を約束しました。ロシナンテスの医療支援計画に必要とされたのが、4輪駆動でディーゼルエンジンを搭載した救急車です。

救急車がスーダンに渡ってから現地に到着するまで、通関規制などにより時間がかかりましたが、2007年9月にガダーレフへ届けることができました。到着したその日、挨拶に訪れた村で呼吸困難に陥っていた村長さんに酸素吸入のうえ診療したり、地域の酋長が主催してくれた歓迎セレモニーの途中で呼び出しがあり、マラリア熱で苦しむに子どもを診療所まで緊急搬送するなどフル稼働です。集まっていた人々も、早速の活躍を喜んでくれました。

今後の活動予定

今後は州政府が管理責任を負い、ロシナンテスが拠点としている地域診療所に配備されて救急対応をするほか、定期的な巡回診療や各村落での保健教室の開催に利用される予定です。これは十分な診療が提供されていない地域住民に、母子保健、栄養指導、公衆衛生に関する知識を普及させることが目的です。この地域の保健環境向上に貢献し、幅広い活躍が期待されています。



現地到着後、コンテナから引き出す



州政府前：川原医師、州知事、州保健大臣ら



早速診療を開始：患者さんは村長さん



到着したその日から緊急出動



救急車を歓迎したセレモニー



今日も人々のために各村落で活躍中です